Machine Controller MP9□□
プログラミング装置用 ソフトウェア　PROGRAMMING UNIT SOFTWARE

取扱説明書　INSTRUCTIONS

この取扱説明書は, 最終的に本製品をお使いになる方のお手元に確実に届けられるよう, お取り計らい願います。

Upon receipt of the product and prior to installing the product, read these instructions thoroughly, and retain for future reference.

株式会社 安川電機

YASKAWA

資料番号 (MANUAL NO.)　TOBZ-C887-1.4

はじめに

■ 本書の構成

この取扱説明書は，日本語編と英語編で構成しています。

・日本語編：J-1 ページ～J-30 ページに掲載

・英語編　：E-1 ページ～E-33 ページに掲載

必要に応じて，ご活用ください。

■ 本書の対象読者

本書は下記の方々を対象読者としています。

・マシンコントローラ MP9□□の到着時の点検を行う方

・マシンコントローラ MP9□□の盤組み込みや配線を行う方

・マシンコントローラ MP9□□の操作や運転を行う方

・マシンコントローラ MP9□□の保守や点検を行う方

INTRODUCTION

■ Manual Contents

This manual consists of Japanese Version and English Version.

・Japanese Version: Described on pages J-1 to J-30.

・ English Version: Described on pages E-1 to E-33.

Use the Japanese Version or English Version as needed.

■ User Instructions

Use these instructions for the following jobs:

・Checking machine controller MP9□□ on delivery

・Installing machine controller MP9□□

・Wiring machine controller MP9□□

・Operating machine controller MP9□□

・Inspecting and maintenance of machine controller MP930

目次

取扱説明書

マシンコントローラ MP9☐☐

目次

アイコンの表示

説明内容の区分がすぐわかるように，下記のアイコンを設けました。必要個所にアイコンを表示して，ご理解の助けとしました。

覚えていただきたい，重要な事柄です。
また、アラーム表示が発生するなど，装置の損傷に至らないレベルの，軽度な注意事項です。

プログラム例，操作例などを示します。

補足事項や覚えておくと便利な機能を示します。

用語？？ 分かりにくい専門用語や，事前の説明なしに出てきた専門用語を解説しています。

マニュアルの概要

- 安川マシンコントローラ MP9□□用プログラミング装置用ソフトウェアをご購入いただき，ありがとうございます。
- この取扱説明書は，MP9□□のプログラミング装置用ソフトウェアの「安全上の注意」および「取り扱い方法」について解説しています。本書をご理解のうえ，正しくご使用ください。
- なお詳細については，下記の参考資料をお読みください。

資料名称	資料番号	内　容
マシンコントローラ MP9□□ プログラミング装置用 ソフトウェア ユーザーズ マニュアル（上巻）／（下巻）	• SIZ-C887-2.2-1（上巻） • SIZ-C887-2.2-2（下巻）	MP9□□のプログラミングシステム：CP-717 のインストールと操作方法を詳細に説明しています。
電子カムデータ作成ツール 操作説明書 ＊	SI-C877-17.6	電子カムデータ作成ツールの使用方法について説明しています。

＊　この操作説明書は同封されておりませんので，電子カムツールをご使用になる場合は，当社営業部門にご相談ください。

ソフトウエアについて

■ 使用上のご注意

- 本ソフトウエアは，特定された 1 台のコンピュータでご使用ください。別のコンピュータに対してご使用になる場合は，別途にご請求ください。
- 本ソフトウエアを，バックアップなどの目的以外でコピーして使用することは，固く断り致します。
- 本ソフトウエアを収めているフロッピーディスク（オリジナルメディア）は，大切に保管してください。
- 本ソフトウエアの逆コンパイル，逆アセンブルなどを行うことは，固くお断り致します。
- 本ソフトウェアの一部または全部を，当社の事前の承認なしに，ご譲渡，交換，転貸などによって第三者に使用させることは，固くお断り致します。

登録商標

- Windows，Windows95 は，米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Pentium は，米国 Intel Corporation の登録商標です。
- イーサネット（Ethernet）は，米国 Xerox Corporation の登録商標です。

安全上のご注意

据え付け，運転，保守・点検の前に，必ずこの取扱説明書とその他の参考資料をすべて熟読し，正しくご使用ください。機器の知識，安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

■ 一般注意事項

使用に際してご注意ください。

- MP9□□は，人命にかかわるような状況の下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計，製造されたものではありません。

  本資料に記載の製品を乗用移動体用，医療用，航空宇宙用，原子力制御用，海底中継用機器あるいはシステムなど，特殊用途をご検討の際には，当社の営業窓口までご照会ください。
- MP9□□は厳重な品質管理の下に製造しておりますが，MP9□□が故障することにより，人命にかかわるような重要な設備および重大な損失の発生が予測される設備への適用に際しては，重大事故にならないよう安全装置を設置してください。
- 本マニュアルに掲載している図および写真は，代表事例であり，お届けした製品と異なることがあります。
- 本マニュアルは，製品の改良，仕様変更 ならびに マニュアルの使い易さの向上のために，適宜変更することがあります。この変更は，マニュアルの資料番号を更新し，改訂版として発行します。改訂版の版数は，裏表紙に記載しています。
- 損傷，紛失等で本マニュアルを注文される場合は，当社代理店または，裏表紙に記載した最寄りの当社営業所へ，資料番号をご連絡ください。
- 製品に取り付けている銘板が，かすれたり破損した場合は，当社代理店または，裏表紙に記載した最寄りの当社営業所へ，銘板をご発注ください。
- お客様が改造を行った製品は，当社の品質保証の対象外となります。改造製品に起因する一切の傷害や損傷に対して，当社は責任を負いません。

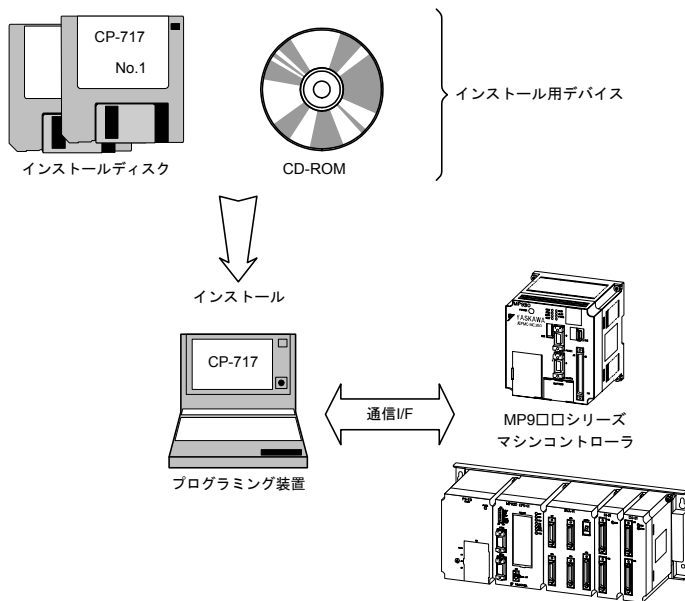
1 CP-717 の概要

この節では，CP-717 の概要とそれをインストールするパソコンの仕様について説明します。

1.1 CP-717 とは

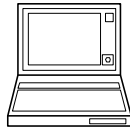
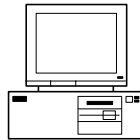
「CP-717」は，マシンコントローラ：MP9□□シリーズを制御・監視するためのプログラミング用ソフトウェアです。

「CP-717」は Windows95/NT4.0 上で動作するソフトウェアで，これをパーソナルコンピュータ（以降 PC という）にインストールしたものを「プログラミング装置」と呼びます。

CP-717 プログラミング装置と MP9□□は，通常 RS-232C 通信インタフェースにより接続されますが，MP9□□の機種によってはイーサネット（218IF）や高速通信ボード（215IF）を利用することが可能です。詳しくは各機種の「設計・保守編」マニュアルを参照してください。

補足 プログラミングソフトウェア「CP-717」はフロッピィディスクで提供しておりましたが，99 年 6 月以降は，CD-ROM にて提供しております。

1.2 CP-717 の推奨パソコン

プログラミング装置は，マシンコントローラと高速にデータのやりとりをしたり，制御・監視などの多機能化が要求されます。

CP-717 を快適に操作するためのパソコンの仕様は，以下のとおりです。CP-717 をインストールする際，パソコンの仕様をご確認ください。

オペレーティングシステム
Windows 95
または
Windows NT4.0

PCアーキテクチャ	DOS/V ＊1
CPU	Pentium 200MHz以上 ＊2
メモリ	64MB以上（推奨128MB） ＊3
解像度	800×600ドット以上
ハードディスク	200MB ＊4
通信ポート	RS-232C（19.2Kbps）

＊1. NEC9800 シリーズパソコンの利用は可能ですが，マシンコントローラとの通信が RS-232C に限定されます。高速通信ボード（215IF）はサポートされません。

＊2. インテル社製以外の CPU 相当品でも可能です。

＊3. 他のアプリケーションを同時に動作させる場合は，更にメモリを増設してください。メモリ資源獲得が頻繁に行われパフォーマンスが低下する場合があります。

＊4. インストール後の標準作業スペースを含みます。

2 インストール手順

CP-717 システムのソフトウェアをインストールする手順を説明します。

2.1 インストーラの起動

■ CD-ROM の場合

CP-717 ソフトウェアが CD-ROM で提供された場合のインストール手順を下記に示します。

1. CD-ROM を CD ドライブに入れます。

   以下のウィンドウが表示されます。

2. 日本語版をインストールする場合は，「CP-717（日本語版）」をクリックします。

   英語版をインストールする場合は，「CP-717（英語版）」をクリックします。

3. ファイル一覧の中から「Setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動させてください。

■ フロッピィーディスクの場合

CP-717 ソフトウェアがフロッピーディスクで提供された場合のインストール手順を下記に示します。

1. No.1 ディクをフロッピーディスクドライブに差込みます。
2. 格納されているファイル名を，エクスプローラで一覧表示します。
3. 一覧の中から「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

   「setup.exe」が見つからない場合は，フロッピーディスクをご確認ください。No.1（一番目）のフロッピーディスクでないか，異なったフロッピーディスクがセットされています。

(1) 「setup.exe」は，コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アイコンからも起動することができます。

(2) 以降の 2.2「セットアップの準備処理」から 2.9「セットアップの完了」については，CP-717（日本語版）インストーラを起動した場合について説明します。

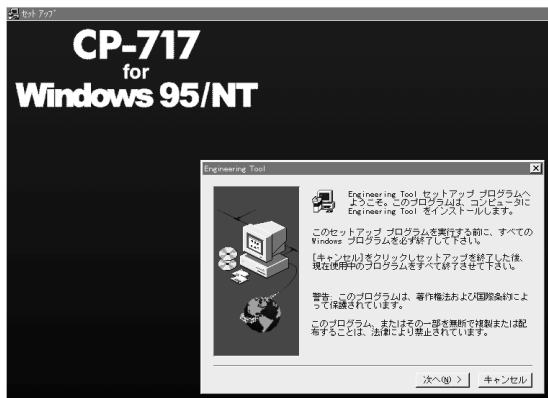
CP-717（English Version）インストーラを起動した場合も，日本語版と同じ内容が英語で表示されます。英語版をインストールする場合，日本語版の手順を参考にしてください。

2.2 セットアップの準備処理

セットアップ準備ウィンドウが次のように表示されます。このウィンドウが表示されている間は，インストールの準備が行われています。

次のウィンドウに移るまで少しお待ちください。

2.3 セットアップの開始

セットアップ準備が完了すると以下のウィンドウが表示され，インストール開始状態になります。

メッセージ確認後，「次へ(N)＞」ボタンをクリックしてください。セットアップが開始され次の「ユーザーの情報」ウィンドウに映ります。

補足 ■ 以降の操作で共通のもの

(1) 「次へ(N)＞」ボタンを押すと処理は実行され，次ウィンドウに移ります。
「＜戻る(B)」ボタンを押すと前ウィンドウに戻ります。

(2) 「キャンセル」ボタンをクリックすると，セットアップは中止されます。

2.4 ユーザー情報入力

1. 「ユーザーの情報」ウィンドウが表示されます。

名前，会社名，シリアル番号のユーザ情報を入力します。

2. 入力が完了したら「次へ(N)＞」をクリックしてください。

2.5　インストール先ディレクトリの選択

インストール先のディレクトリを選択してください。

“C:¥YeTools”が CP-717 のデフォルトディレクトリです。

「参照」ボタンを使ってインストール先ディレクトリを変更できますが，
“C:¥YeTools“をそのまま使用することを推奨します。

2.6　プログラムフォルダの選択

プログラムフォルダの選択ウィンドウです。

ここでは，アプリケーション群を登録するプログラムフォルダを指定して登録します。デフォルトは，“YE_Applications”です。

デフォルト以外の既存フォルダを選択することも可能ですが，
“YE_Applications“をそのまま使用することを推奨します。

選択できたら「次へ(N)＞」をクリックしてください。

2.7 設定情報の確認

「ファイルコピーの開始」ウィンドウが表示されます。

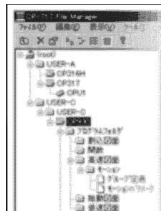
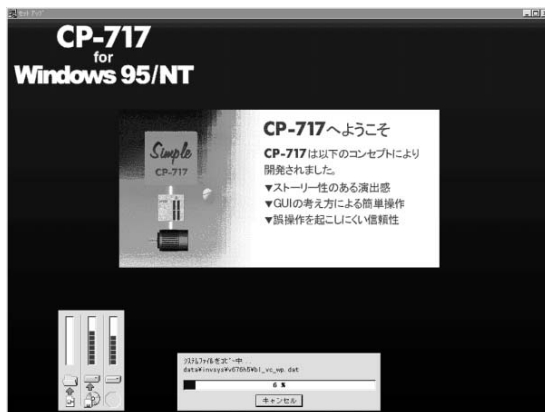
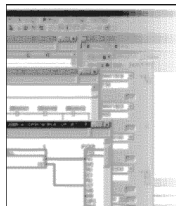
今まで入力した情報が表示されます。もし修正がある場合は「＜戻る(B)」ボタンをクリックして前のウィンドウに戻ってから該当個所を修正してください。

設定内容が確定したら，「次へ(N)＞」をクリックして，ファイルのコピーを開始してください。

2.8 ファイルコピーの開始と終了

ファイルコピーが開始されます。

ウィンドウの下に表示されるプログレスバーダイアログと，インフォメーションゲージでコピーの進行状況を確認できます。

コピーが終了するまでお待ちください。

2.9 セットアップの完了

コピーが終了すると，「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

下記の二つのチェック項目があります。必要に応じてチェックした後，「終了」ボタンをクリックしてください。

- 「はい，直ちに Readme ファイルを参照します。」

  使用許諾契約書を記載した Readme ファイル（下図を参照）を表示します。不要のときはチェックを外してください。

- 「はい，File Manager を直ちに実行します。」

  セットアップ終了後アプリケーションを起動します。

Readme ファイルの表示

使用許諾契約書

ソフトウエア製品ライセンス

製品名 ： YASKAWA Engineering Tool

バージョン ： Version 3.00

ライセンス数 ： １ライセンス

株式会社安川電機（以下「弊社」といいます）は、本契約書とともに提供する本製品に関し、本製品を購入されたお客様（以下「お客様」といいます）に対して、下記条項に基づき譲渡不能の非独占的権利を許諾し、お客様も下記条項にご同意の上ディスク・パッケージの包装を開封していただくものとします。

従いまして、お客様がディスク・パッケージの包装を開封した時点で本契約が成立したものとみなされます。本契約書は、必ず保管して下さいますようお願い申し上げます。

記

第１条 定義

2.10　セットアップ内容の確認

セットアップが完了すると，アプリケーション群のプラットホームとなる共通のプログラムフォルダ（デフォルト：YE_Applications）がデスクトップ上に置かれます。

次の手順でセットアップ内容が正しく行われたかを確認してください。

1. YE_Applications プログラムフォルダをダブルクリックします。プログラムフォルダが開きその内容が次のように表示されます。

2. Workstation アイコンをダブルクリックして，アプリケーションが正しく起動するかどうか確認してください。

デスクトップ上の左下隅にあるスタートボタンのプログラムメニューからこのアプリケーションを選択して起動することもできます。

2.11 インストール時に作成されるフォルダ

インストーラにより, ファイルコンポーネント[1]ごとにフォルダが作成されて該当ファイルがコピーされます。

	ファイルコンポーネント	作成されるフォルダ
1	Readme（最新情報）ファイルなど。	¥...¥YeTools
2	CP-717 プログラムファイル	¥...¥YeTools¥Cp717sys
3	CP-717 データファイル	¥...¥YeTools¥Cp717Usr
4	Windows 通信ドライバ	¥...¥WINDIR¥System
5	共有 DLL	¥...¥WINDIR¥system
6	CP-717 通信プログラムファイル	¥...¥YeTools¥CpComSys

（注）1. ¥...¥YeTools
CP-717 システムの基本となるフォルダで, 殆どのファイルはこのフォルダ下にインストールされます。フォルダ名称は変更できますが, 標準フォルダ名である“YeTools”をそのままお使いになることを推奨します。

（注）2. ¥...¥WINDIR
Windows システムがインストールされているフォルダを指します。Windows95 の標準インストールでは“C:¥Windows”になります。CP-717 がマシンコントローラとデータのやりとりをするための通信ドライバモジュールとか共有 DLL など, Windows システムに依存したファイルがインストールされます。

用語？？

[1] ファイルコンポーネント：機能単位にグループ分けされたファイルです。

3　通信設定

ここでは CP-717 とマシンコントローラ間の通信設定について説明します。

3.1　通信設定の概要

インストールが終了したら必ず一回 CP-717 の通信設定を行ってください。通信媒体としては，下記の 3 種類から該当するものを選択して通信条件を設定してください。

- シリアルインタフェース
- CP-215 高速通信インタフェース
- CP-218 イーサネットインタフェース

一度設定すると，CP-717 のシステム情報として保存されます。次回からの設定は変更のない限り必要ありません。

3.2　通信プロセスの呼出し

1. “YE Applications”プログラムフォルダにある通信プロセスのアイコン“Communication Manager”をダブルクリックしてください。

2. 「通信プロセス」ウィンドウが表示されます。通信プロセスは 16 チャネルまでの論理ポートを操作できるようになっています。上から順番に未使用の論理ポートを選択して設定してください。

3. 論理 PT 番号をダブルクリックするか論理 PT を選んで「ファイル」メニューから「ファイル(F)－設定(E)」をクリックしてください。
以下のウィンドウは論理ポート番号 1 を選んだ状態です。

4. 論理ポートを選択すると以下の「論理ポート設定」ウィンドウが表示されますので，該当する通信インタフェースの「ポート種別」を選らび該当する設定処理に進んでください。

プログラミング装置に装着されていない通信デバイス（CP-215 など）を論理ポートに設定しないでください。ハードウェアが不安定になることがあります。

3.3　シリアル通信ポートの設定

■　設定の手順

シリアル通信ポートの設定手順を下記に示します。

1. 論理ポート設定ウィンドウで，ポート種別「シリアル」を選んで「詳細」をクリックしてください。

2. 下記の設定情報が表示されます。

   通常は下図のデフォルト値になっていますので確認後「OK」をクリックしてください。

   変更が必要な場合は，新たなパラメータを設定して「OK」をクリックします。

3. 論理ポートウィンドウが再度表示されますので，もう一度「OK」をクリックしてください。通信プロセスの開始ウィンドウに戻りますので，論理ポート 1 にシリアルが割り付けられたことを確認できます。

これでシリアルパラメータの設定は終了です。

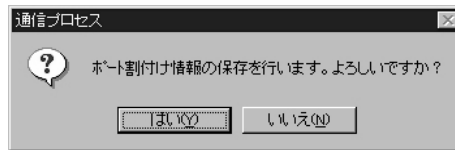
この後は設定内容をファイルに保存する必要があります。

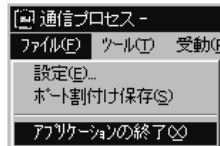
■ 通信ポート設定値の保存

通信ポートの設定値をファイルに保存します。以降，通信プロセスが起動する時，この内容が通信ポート情報として提供されます。

通信ポート設定値を保存する操作手順は，以下のとおりです。

1. 「ファイル(F)－ポート割付け保存(S)」をクリックします。

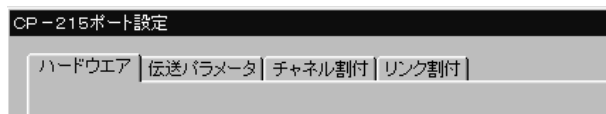
2. 保存を確認する「通信プロセス」ウィンドウが表示されますので，「はい(Y)」をクリックして保存してください。

■ 通信プロセスの終了

「ファイル(F)－アプリケーションの終了(X)」をクリックして通信プロセスウィンドウを閉じます。

3.4　CP-215 通信ポートの設定

■　設定の手順

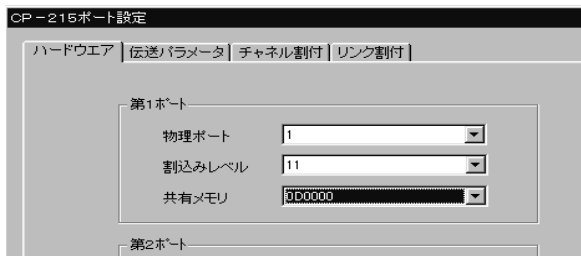
CP-215 通信ポートの設定手順を下記に示します。

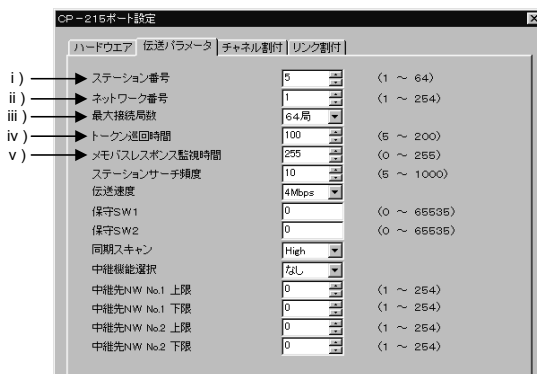
1. 論理ポート設定ウィンドウで，ポート種別「CP-215」をクリックし「詳細」をクリックしてください。

2. 「詳細」ボタンを押すと CP-215 ポート設定ウィンドウが表示されますので，4 つのタブで示されるハードウェア，伝送パラメータ，チャネル割付の順番で CP-215 のパラメータを設定してください。リンク割付タブの設定は不要です。

a) ハードウェア設定

パソコンに装着している CP-215 PC/AT カードの動作条件を設定します。

- 物理ポート
  入出力ポート番号を設定します。CP-215 PC/AT カードが一枚であれば「1」を設定してください。CP-215 PC/AT カードを 2 枚以上使用する場合は順番に 2，3，4 と割り振ってください。
- 割込レベル
  ご使用しているパソコンで空いているハードウェア割込番号を選択してください。

- 共有メモリ
  通信バッファアドレスを設定します。通常は，UMB で空いているメモリアドレスを設定します。

b) 伝送パラメータ設定

CP-215 伝送パラメータを設定します。ステーション番号からメモリレスポンス監視時間までを設定してください。それ以降のパラメータはデフォルトのままお使いください。

i) ステーション番号

CP-717 のステーション番号を設定してください。

ii) ネットワーク番号

CP-717 が接続されているネットワーク番号を設定してください。セットワークセグメントが一つの場合は「1」を設定してください。

iii)最大接続局数

CP-215 ネットワークの局数を設定してください。局数とは全てのマシンコントローラに組み込まれている CP-215 インタフェースモジュール数，および CP-215 PC/AT カードが組み込まれたパソコン数を指します。

iv)トークン巡回時間

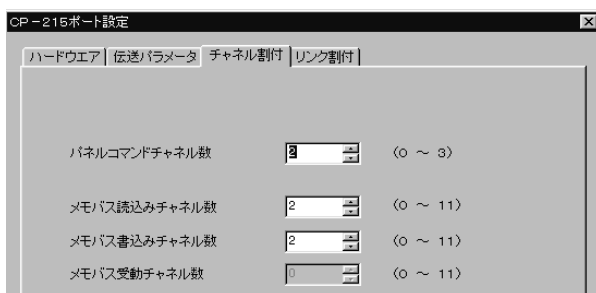
各ステーションがトークンを受信してから, ふたたびトークンを受信するまでの目標時間を設定します。「100」を設定してください。

v) メモバスレスポンス監視時間

メッセージ送信でレスポンスを受信するまでの時間を設定します。「255」を設定してください。

c) チャネル割付設定

パネルコマンドチャネル数を設定します。パネルコマンドチャネル数に“2”を設定してください。その他のパラメータはCP-717では使用しません。デフォルト値をそのままお使いください。

設定が終了したら「OK」をクリックしてください。

3. 論理ポートウィンドウが再度表示されますので，もう一度「OK」をクリックしてください。

通信プロセスの開始ウィンドウに戻りますので，論理ポート1にCP-215が割り付けられたことを確認できます。

これでCP-215パラメータの設定は終了です。

この後は設定内容をファイルに保存する必要があります。

■ 通信ポート設定値の保存，通信プロセスの終了

「MP9□□ プログラミングソフトウェア ユーザーズマニュアル（上巻）（SIZ-C887-2.2-1）」の 2.2.3「シリアル通信ポートの設定」を参照してください。

3.5 CP-218 通信ポートの設定

マシンコントローラに装着された CP-218IF モジュールを介して 10BASE イーサネットで通信します。この場合，CP-717 となるパソコンは汎用のイーサネットボードや，PCMCIA カードを装着する必要があります。

■ 設定の手順

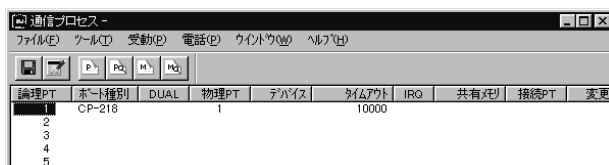
CP-218 通信ポートの設定手順を下記に示します。

1. 論理ポート設定ウィンドウで，ポート種別「CP-218」を選んで「詳細」をクリックしてください。

2. 詳細ボタンをクリックすると CP-218 ポート設定ウィンドウが表示されます。ここでは，IP アドレスのみ設定してください。その他のパラメータはデフォルト値をそのままお使いください。

   プログラミング装置となるパソコンに装着されているイーサネットボード，もしくは PCMCIA カードに割り当てられている IP アドレスを設定します。

   IP アドレスはプライベートアドレスであるクラスＣの 192.168.1.1～192.168.1.254 のいずれかが自動設定されます。IP アドレスの設定に関してはネットワーク管理者の指示に従って決定してください。マシンコントローラを含めた IP アドレスの管理が必要になります。

3. 論理ポートウィンドウが再度表示されますので，もう一度「OK」をクリックしてください。通信プロセスの開始ウィンドウに戻りますので，論理ポート 1 に CP-218 が割り付けられたことを確認できます。

これで CP-218 パラメータの設定は終了です。

この後は設定内容をファイルに保存する必要があります。

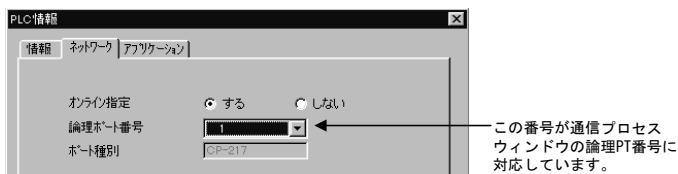
■ 通信ポート設定値の保存，通信プロセスの終了

「MP9□□ プログラミングソフトウェア ユーザーズマニュアル（上巻）（SIZ-C887-2.2-1）」の 2.2.3「シリアル通信ポートの設定」を参照してください。

3.6 CP-717 との論理ポート番号調整

論理ポートは，通信プロセスで 16 ポートまで登録できますが，CP-717 でマシンコントローラのエンジニアリングをする場合，どの論理ポートを使用するかを指定しなければなりません。

使用する論理ポートは，マシンコントローラごとに設定することが可能で，通常ファイルマネージャで使用するマシンコントローラの新規登録時に設定します。
「MP9□□ プログラミングソフトウェア ユーザーズマニュアル（上巻）（SIZ-C887-2.2-1）」の 4.2.4「PLC フォルダの新規作成」を参照してください。

PLC フォルダの新規登録時，または既存の PLC フォルダでプロパティウィンドウをオープンすると以下のようなウィンドウが表示されますので，ネットワークタブウィンドウをオープンしてください。

このウィンドウの論理ポート番号のコンボボックスで使用する論理ポート番号を設定してください。

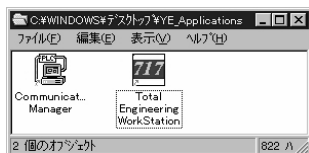
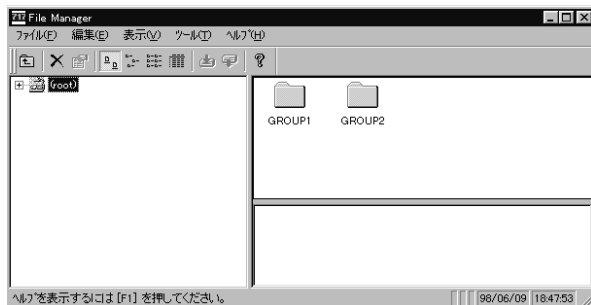
4　CP-717 の起動と終了

CP-717 システムの起動と終了の操作手順を説明します。

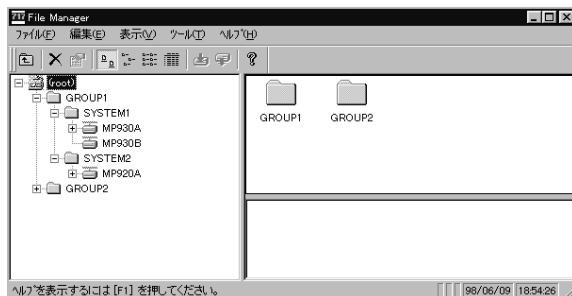
4.1　CP-717 の起動

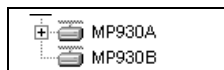
CP-717 を起動する操作手順は以下のとおりです。

1. パソコンの電源を投入して，Windows95 を起動します。

2. プログラムフォルダ「YE_Applications」アイコンをダブルクリックします。

3. 「YE_Applications」グループの「Total Engineering Workstation」アイコンをダブルクリックし，ファイルマネージャを起動します。
4. CP-717 の主ウィンドウとなるファイルマネージャウィンドウが表示されます。

ファイルマネージャの他に，通信マネージャが同時に起動されます。それは下図のタスクバーで確認することができます。

4.2　マシンコントローラの選択

ファイルマネージャウィンドウがすべての操作の開始点となります。プログラムの作成やデータの定義をする PLC でマシンコントローラを選択します。マシンコントローラ選択後 CP-717 の機能が使用できるようになります。ここでは，選択までの手順を説明します。詳細な操作方法については後述します。

上図のように，「root－グループフォルダーオーダーフォルダ」の順番に開き，システム構成を表示していきます。フォルダアイコンの左側に表示されている「＋」記号をクリックするとシステム構成を展開することができます。

オーダー名称をダブルクリックで開くと，マシンコントローラ名称がその下に表示されます。

マシンコントローラ名称の前には他とは異なったアイコンが表示されますので容易に確認することができます。

■　ログオン

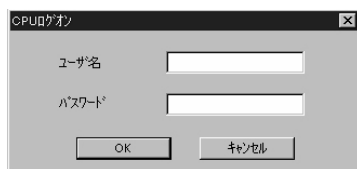
マシンコントローラ名称をダブルクリックすることにより，プログラミングやモニタリングなどによるマシンコントローラの制御が可能になります。この制御可能な状態に入ることをログオンと呼びます。

ログオンする前に，マシンコントローラ名称のところにカーソルを置き右クリックすると，ポップアップメニューが表示されオンライン／オフラインモードの切り替えができます。

オンラインメニューにチェックマークが付いていない場合はオフライン，付いている場合はオンラインを意味します。オンラインメニュー項目をクリックすることにより切り替わります。

ログオンに成功するとアイコンのまえに「+」が表示されログオン中であることを示します。

なお，マシンコントローラ名称をダブルクリックしログオンしようとすると，以下のようなセキュリティダイアログが表示されます。

■ ユーザ登録によるシステムの保護

セキュリティダイアログボックス

ログオン時，プログラムや運転中マシンコントローラのシステム保護のため操作できるユーザを限定する必要があります。CP-717 ではユーザ名とパスワード入力によりシステムを保護しています。

ユーザ管理は新規ユーザ登録，既存ユーザ削除に加え，ユーザ特権レベルもサポートしています。詳細については「MP9□□ プログラミングソフトウェアユーザーズマニュアル（上巻）（SIZ-C887-2.2-1）」の 4.8「ユーザーの管理」を参照してください。

1. ユーザ名入力

   半角 8 文字（全角 4 文字）以内で入力してください。

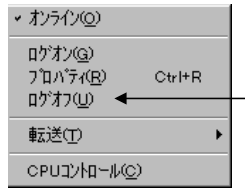
2. パスワード入力

   半角 16 文字（全角 8 文字）以内で入力してください。入力した文字はセキュリティ上「□」で表示されます。パスワードは 3 回まで再入力可能ですが，それ以上はログオンがキャンセルされます。

なお，初回ログオン時，ユーザ登録は行われていません。この場合システムで決められている特別のユーザ名，パスワードが必要になります。「ユーザ管理」を参照してください。

■ ログオフ

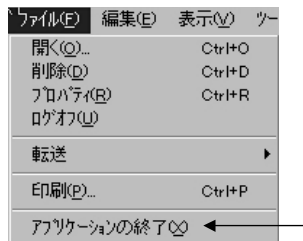
一連の操作が終わったらログオフしてください。そのまま放置しておくと，誰もが操作可能な状態にありますので，システム上危険です。このようにマシンコントローラの制御ができない状態をログオフと呼んでいます。再度制御したい場合は再ログオンしてください。ログオン，ログオフは必ずペアで使われます。

マシンコントローラ名称にカーソルを置き右クリックしてください。表示されたポップアップメニューのログオフ項目をクリックすればログオフできます。

ログオフに成功すると，そのマシンコントローラに展開されていた項目は閉じられます。マシンコントローラアイコンの左に表示されていたログオンの印である「+」もなくなります。

4.3　CP-717 の終了

ログオンしているマシンコントローラがあったらすべてログオフしてからCP-717 を終了してください。ファイルマネージャ以外のウィンドウが表示されていると終了することができない場合がありますので，それらのウィンドウも閉じてください。

■　CP-717 の終了

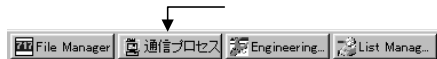
ファイルマネージャの「ファイル(F)ーアプリケーションの終了(X)」をクリックして終了してください。

ファイルマネージャウィンドウの右上隅にある「×」印をクリックしても終了することができます。

■ リストマネージャの終了

タスクバーに表示されているリストマネージャボタンにカーソルを置き右クリックしてください。

ポップアップメニューが出ますので「閉じる」をクリックし，リストマネージャをクリックしてください。

■ 通信プロセスの終了

タスクバーに表示されている通信プロセスボタンにカーソルを置き，右クリックしてください。ポップアップメニューが出ますので，「閉じる」をクリックしてください

通信終了の確認ダイアログが出ますので，通信中でないことを確認して「はい」をクリックしてください。

4.4 システムの遮断

電源を切る前に，Windows95 を終了させる必要があります。タスクバーのスタートボタンをクリックして，表示されたポップアップメニューから「Windows の終了」を選んでください。

Windows95 が正常終了すると「電源を切る準備ができました。」というメッセージが表示されますのでシステムの電源を切ってください。なお，パソコンの仕様によっては，電源が自動的に切れるものがあります。

Machine Controller MP9□□
プログラミング装置用 ソフトウェア PROGRAMMING UNIT SOFTWARE

取扱説明書 INSTRUCTIONS

製造·販売

株式会社 安川電機

入間事業所 埼玉県入間市上藤沢480番地 〒358-8555
代 表 TEL (042)962-5730 FAX (042)962-6138

関東地区 八王子営業所 TEL (0426)44-3844 FAX (0426)45-0438

信越地区 長野営業所 TEL (0266)58-3233 FAX (0266)58-7721

東北地区 東北営業所 TEL (022)265-6111 FAX (022)267-5554

名古屋支店 名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル9階 〒450-0002
代 表 TEL (052)581-2761 FAX (052)581-2274

東海地区 豊田営業所 TEL (0565)27-7771 FAX (0565)27-7770

大阪支店 大阪市北区堂島2丁目4番27号 新藤田ビル4階 〒530-0003
代 表 TEL (06)6346-4500 FAX (06)6346-4555

近畿地区 京滋営業所 TEL (075)212-4631 FAX (075)212-4634

北陸地区 北陸営業所 TEL (076)233-2107 FAX (076)223-5696
富山出張所 TEL (076)444-2228 FAX (076)444-2241

中国支店 広島市南区西荒神町1番8号テリハ広島3階 〒732-0806
代 表 TEL (082)568-8191 FAX (082)568-8195

中国地区 岡山出張所 TEL (086)225-1030 FAX (086)223-1528

九州支店 福岡市中央区天神4丁目1番1号 第7明星ビル7階 〒810-0001
代 表 TEL (092)714-5906 FAX (092)714-5799

九州地区 熊本出張所 TEL (096)382-8186 FAX (096)382-6109

IRUMA BUSINESS CENTER
480, Kamifujisawa, Iruma, Saitama 358-8555, Japan
Phone 81-42-962-5696 Fax 81-42-962-6138

YASKAWA ELECTRIC AMERICA, INC.
2121 Norman Drive South, Waukegan, IL 60085, U.S.A.
Phone 1-847-887-7000 Fax 1-847-887-7370

MOTOMAN INC. HEADQUARTERS
805 Liberty Lane West Carrollton, OH 45449, U.S.A.
Phone 1-937-847-6200 Fax 1-937-847-6277

YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL COMÉRCIO LTD.A.
Avenida Fagundes Filho, 620 Bairro Saude-Sao Pãulo-SP, Brazil
CEP: 04304-000
Phone 55-11-5071-2552 Fax 55-11-5581-8795

YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH
Am Kronberger Hang 2, 65824 Schwalbach, Germany
Phone 49-6196-569-300 Fax 49-6196-569-398

Motoman Robotics Europe AB
Box 504 S38525 Torsås, Sweden
Phone 46-486-48800 Fax 46-486-41410

Motoman Robotec GmbH
Kammerfeldstraβe1, 85391 Allershausen, Germany
Phone 49-8166-90-100 Fax 49-8166-90-103

YASKAWA ELECTRIC UK LTD.
1 Hunt Hill Orchardton Woods Cumbernauld, G68 9LF, United Kingdom
Phone 44-1236-735000 Fax 44-1236-458182

YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION
Kfpa Bldg #1201, 35-4 Youido-dong, Yeongdungpo-Ku, Seoul 150-010, Korea
Phone 82-2-784-7844 Fax 82-2-784-8495

YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD.
151 Lorong Chuan, #04-01, New Tech Park Singapore 556741, Singapore
Phone 65-6282-3003 Fax 65-6289-3003

YASKAWA ELECTRIC (SHANGHAI) CO., LTD.
No.18 Xizang Zhong Road. Room 1805, Harbour Ring Plaza
Shanghai 20000, China
Phone 86-21-5385-2200 Fax 86-21-5385-3299

YATEC ENGINEERING CORPORATION
4F., No.49 Wu Kong 6 Rd, Wu-Ku Industrial Park,Taipei, Taiwan
Phone 886-2-2298-3676 Fax 886-2-2298-3677

YASKAWA ELECTRIC (HK) COMPANY LIMITED
Rm. 2909-10, Hong Kong Plaza, 186-191 Connaught Road West, Hong Kong
Phone 852-2803-2385 Fax 852-2547-5773

BEIJING OFFICE
Room No. 301 Office Building of Beijing International Club, 21
Jianguomenwai Avenue, Beijing 100020, China
Phone 86-10-6532-1850 Fax 86-10-6532-1851

TAIPEI OFFICE
9F, 16, Nanking E. Rd., Sec. 3, Taipei, Taiwan
Phone 886-2-2502-5003 Fax 886-2-2505-1280

SHANGHAI YASKAWA-TONGJI M & E CO., LTD.
27 Hui He Road Shanghai China 200437
Phone 86-21-6553-6060 Fax 86-21-5588-1190

BEIJING YASKAWA BEIKE AUTOMATION ENGINEERING CO., LTD.
30 Xue Yuan Road, Haidian, Beijing P.R. China Post Code: 100083
Phone 86-10-6233-2782 Fax 86-10-6232-1536

SHOUGANG MOTOMAN ROBOT CO., LTD.
7, Yongchang-North Street, Beijing Economic Technological Investment & Development Area, Beijing 100076, P.R. China
Phone 86-10-6788-0551 Fax 86-10-6788-2878

YASKAWA

株式会社 安川電機

本製品の最終使用者が軍事関係であったり，用途が兵器などの製造用である場合には，「外国為替及び外国貿易法」の定める輸出規制の対象となることがありますので，輸出される際には十分な審査及び必要な輸出手続きをお取りください。

製品改良のため，定格，仕様，寸法などの一部を予告なしに変更することがあります。

この資料の内容についてのお問い合わせは，当社代理店もしくは，上記の営業部門にお尋ねください。

In the event that the end user of this product is to be the military and said product is to be employed in any weapons systems or the manufacture thereof, the export will fall under the relevant regulations as stipulated in the Foreign Exchange and Foreign Trade Regulations. Therefore, be sure to follow all procedures and submit all relevant documentation according to any and all rules, regulations and laws that may apply.

Specifications are subject to change without notice for ongoing product modifications and improvements.

資料番号 (MANUAL NO.) TOBZ-C887-1.4

© Printed in Japan May 2003 00-4 ◇②
03-4⑤